

## なぜ、組合が必要なの？ ②

弱い立場の働く人を守る組織「労働組合」。学校では、「なぜ組合に入るの?」「組合に入っている人も入っていない人も同じ権利なんて…」という声がよく聞かれます。

「なぜ、組合に入るのですか?」と、4月に赴任した新規採用者にそんなことを聞かれたら、どのように答えたらいいのでしょうか?

労働組合は「組織」として、労働者の賃金や生活をまもるため、職場の要求を実現するためにあります。

また、人間らしく生き、働くことのできる「権利」を、有効に行使するため（行使できる社会にするため）に組合は存在しています。

加えて、その権利を自分たちの運動によって獲得することもできます。

これまでに多くの権利や制度を獲得してきました。

- ・男女平等の賃金
- ・産前産後特別休暇・育児休業
- ・介護休暇・看護休暇
- ・理不尽な退職勧告等をさせない身分保障



教職員組合の場合は、これらに加えて、すべての子どもたちに行き届いた教育を保障すること、教職員全体の悩みや不安の解消、教育課題の解決、教職員の力量向上のための教育研究活動、そして平和をまもる様々なとりくみを行っています。

### こんな活動をしています！

#### ①子どもたちのために

教職員の定数改善や、教育予算の拡充などを求めて交渉しています。

学習会を行ったり、東北ブロックや日教組の教育研究集会に参加したりして、授業改革や平和・人権教育の推進などにもとりくんでいます。

#### ②教職員のために

私たち教職員がいきいきと働くことは、子どもたちの教育環境にとっても重要なことです。労働条件や賃金の改善、休暇制度の充実などにとりくんでいます。

#### ③社会のために

子どもたちの教育の改善、反戦平和、環境問題、災害に対する緊急支援のため署名活動やカンパを届けています。